



平成 22 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大野 利美知
(J A S D A Q ・ コード番号 2796)
問合せ先 常務取締役 村上 典夫
(TEL 03-3362-7130)

(訂正・数値データ訂正有り) 「平成 22 年 5 月期第 2 四半期決算短信」の一部訂正について

当社では、平成 22 年 6 月 8 日付「不適切な取引に関するお知らせ」及び平成 22 年 6 月 28 日付「不適切な取引に関する調査結果について」にて開示いたしました通り、元役員により循環的に売上高が計上されていた問題が判明したことを受け、過年度 3 期間（平成 19 年 5 月期、平成 20 年 5 月期、平成 21 年 5 月期）の決算訂正の作業を進めてまいりました。今般、過年度決算の具体的な訂正内容が確定いたしましたので、下記の通りご報告申し上げます。

なお、訂正箇所が多岐にわたっており正誤表による形式では分かりづらくなることから、訂正後と訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

また、訂正後の数値データにつきましても提出しております。

記

訂正を行う決算短信の概要

決算期 : 平成 22 年 5 月期第 2 四半期 (平成 21 年 6 月～平成 21 年 11 月)
公表日 : 平成 22 年 1 月 13 日

以上

平成22年5月期 第2四半期決算短信

平成22年1月13日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 利美知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業本部長 (氏名) 村上 典夫 TEL 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第2四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第2四半期	10,625	9.9	367	149.7	260	200.3	111	178.5
21年5月期第2四半期	9,670	—	147	—	86	—	40	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第2四半期	15,656.81	—
21年5月期第2四半期	5,605.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第2四半期	12,233	1,824	14.0	240,050.81
21年5月期	10,279	1,664	16.0	230,137.05

(参考) 自己資本 22年5月期第2四半期 1,712百万円 21年5月期 1,641百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	6,000.00	6,000.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期(予想)の期末は、当該株式分割を考慮しております。

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	23,052	15.3	692	28.7	535	31.7	223	1.3	10,458.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期の業績予想における1株当り当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

<訂正後>

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
株三和調剤
(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- | | | |
|-----------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | : | 無 |
| ② ①以外の変更 | : | 無 |
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第2四半期 | 7,155株 | 21年5月期 | 7,155株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第2四半期 | 21株 | 21年5月期 | 21株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第2四半期 | 7,134株 | 21年5月期第2四半期 | 7,154株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項につきましては、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

<訂正後>

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第2四半期連結累計期間（平成21年6月1日～平成21年11月30日）の我が国の経済は、中国を筆頭とする新興国の需要回復により最悪期からは脱したものの、今後の見通しについては引き続き不透明な状況にあります。ドバイショックによりさらに進行した円高、少子高齢化の進行により顕在化する慢性的な需要不足、先進国の中で突出した水準の財政赤字等は、我が国特有の問題として今後の事業運営のための環境予測をさらに困難化しております。

当社グループが属する調剤薬局業界におきましても、本年6月1日より改正薬事法が施行されOTC医薬品（一般用医薬品、大衆薬）の3分類化と登録販売者制度の設置が行われました。これにより調剤チェーンにドラッグストアやコンビニエンスストア、大手小売業も加えて今後の市場動向を見据えての提携や再編が活発化しております。

そのような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は10,625百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は367百万円（同149.7%増）、経常利益は260百万円（同200.3%増）、四半期純利益は111百万円（同178.5%増）となりました。当社グループは、「調剤を科学する薬局」というコンセプトのもとで、地域医療や後発医薬品等において高水準なサービスを提供できる体制の整備を推進してまいりました。また、本年6月1日の持株会社体制への移行を機に、グループ会社の組織変更や人事異動を積極的に行い、グループ全体の機能強化と活性化を促すように取り組んでまいりました。さらに、地域医療サービスにおける質の向上を目指す同業他社に対して積極的に参画を促すことで、グループ力の拡大に向けて、鋭意取り組んでおります。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

（調剤薬局事業）

当第2四半期連結累計期間における新規開局は2店舗（10月魚津店、11月一宮西店）でしたが、調剤薬局事業に関するM&Aを2件成約しております。本年9月11日付で、持分法適用関連会社であった株式会社三和調剤（本社：東京都武蔵野市、3店舗運営）と「資本業務提携に関する基本契約」を締結し連結子会社（持分割合51.2%）といたしました。また、本年9月30日付で、株式会社ハイレンメディカル（本社：北海道伊達市、22店舗運営）の株式を取得し完全子会社化しております。その結果、当第2四半期連結会計期間末における調剤薬局店舗数は153店舗（直営151店舗、FC2店舗）となりました。

薬局運営面につきましては、これまで重点的施策として取り組んでまいりました地域医療（在宅医療や施設調剤等）の拡大や後発医薬品の推奨品整備に加えて、OTC医薬品等の販売拡大に向けた施策にも着手しております。

これらの結果、売上高は10,488百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は495百万円（前年同期比183.4%増）となりました。

（その他事業）

その他事業の内容は、当社が運営する処方データビジネス事業と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局店舗以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸販売であります。その他事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は136百万円（前年同期比1.9%減）、営業損失は26百万円となりました。

<訂正後>

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は12,233百万円となり、前連結会計年度末残高10,279百万円に対し、1,953百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動資産898百万円、有形固定資産326百万円、無形固定資産1,413百万円、投資その他の資産332百万円それぞれ増加したこと、また調剤報酬債権流動化の契約内容の変更等に伴い、売掛金が967百万円となり前連結会計年度末残高1,165百万円に対し198百万円（連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により404百万円増加したため、調剤報酬債権流動化の契約内容の変更等に伴う減少額は603百万円）、未収入金が475百万円となり前連結会計年度末残高891百万円に対し415百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は10,408百万円となり、前連結会計年度末残高8,615百万円に対し1,793百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動負債990百万円、固定負債235百万円それぞれ増加したこと、短期借入金が200百万円、長期借入金（1年内含む）が493百万円（内、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による増加額が369百万円）増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,824百万円となり、前連結会計年度末残高1,664百万円に対し160百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が68百万円増加し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得等により、少数株主持分が89百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年1月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました内容に変更はございません。

なお、通期業績予想には第3四半期連結累計期間より株式会社三和調剤（平成21年9月11日付「業務・資本提携（第三者割当増資引受け）及びそれに伴う子会社の異動に関するお知らせ」ご参照）と株式会社ハイレンメディカル（平成21年9月30日付「株式会社ハイレンメディカル株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」ご参照）が、第4四半期連結累計期間より有限会社北町薬局（平成21年12月3日付「有限会社北町薬局の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」ご参照）が連結子会社として連結業績に寄与することを想定しております。また、平成22年5月に計画している本社移転（平成22年1月5日「本社移転に関するお知らせ」ご参照）に係る費用等も加味しております。

<訂正後>

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

持分法適用関連会社であった(株)三和調剤との業務提携をさらに強固にするために株式を追加取得し、連結子会社となったと同時に連結の範囲の変更を伴う特定子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

<訂正後>

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,581,153	2,152,044
売掛金	967,162	1,165,463
商品	833,129	693,035
未収入金	475,307	891,108
その他	<u>297,571</u>	<u>197,796</u>
貸倒引当金	<u>△7,731</u>	<u>△6,747</u>
流動資産合計	<u>5,146,593</u>	<u>5,092,701</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>1,817,346</u>	<u>1,629,694</u>
土地	<u>1,559,695</u>	<u>1,455,224</u>
その他(純額)	<u>206,829</u>	<u>164,163</u>
有形固定資産合計	<u>3,583,870</u>	<u>3,249,082</u>
無形固定資産		
のれん	1,865,682	501,964
ソフトウェア	285,613	337,104
その他	35,810	24,984
無形固定資産合計	<u>2,187,106</u>	<u>864,054</u>
投資その他の資産		
差入保証金	671,591	584,761
その他	<u>657,889</u>	<u>499,658</u>
貸倒引当金	<u>△13,633</u>	<u>△11,883</u>
投資その他の資産合計	<u>1,315,847</u>	<u>1,072,536</u>
固定資産合計	<u>7,086,824</u>	<u>5,185,672</u>
繰延資産		
株式交付費	377	1,490
繰延資産合計	<u>377</u>	<u>1,490</u>
資産合計	<u>12,233,795</u>	<u>10,279,865</u>

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,463,355	3,433,087
短期借入金	500,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,622,629	1,539,308
未払法人税等	161,275	118,517
その他	<u>451,257</u>	<u>457,722</u>
流動負債合計	<u>7,198,518</u>	<u>5,848,635</u>
固定負債		
長期借入金	2,993,742	2,583,668
退職給付引当金	139,348	125,964
その他	77,290	57,120
固定負債合計	<u>3,210,380</u>	<u>2,766,752</u>
負債合計	<u>10,408,898</u>	<u>8,615,388</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	<u>598,470</u>	<u>529,578</u>
自己株式	<u>△2,430</u>	<u>△2,430</u>
株主資本合計	<u>1,703,491</u>	<u>1,634,599</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,031	7,198
評価・換算差額等合計	<u>9,031</u>	<u>7,198</u>
少数株主持分	112,374	22,679
純資産合計	<u>1,824,896</u>	<u>1,664,476</u>
負債純資産合計	<u>12,233,795</u>	<u>10,279,865</u>

<訂正後>

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	9,670,544	10,625,116
売上原価	8,583,548	9,261,029
売上総利益	1,086,996	1,364,087
販売費及び一般管理費	939,880	996,800
営業利益	147,115	367,286
営業外収益		
受取利息	3,912	3,084
受取配当金	354	351
受取賃貸料	3,111	5,626
その他	2,486	2,035
営業外収益合計	9,866	11,098
営業外費用		
支払利息	42,950	44,236
持分法による投資損失	—	4,069
支払手数料	—	38,252
休止固定資産費用	12,863	24,193
その他	14,560	7,551
営業外費用合計	70,375	118,304
経常利益	86,606	260,080
特別利益		
貸倒引当金戻入額	20,891	967
特別利益合計	20,891	967
特別損失		
賃貸借契約解約損	2,857	—
減損損失	—	23,151
特別損失合計	2,857	23,151
税金等調整前四半期純利益	104,641	237,895
法人税等	63,747	124,963
少数株主利益	790	1,236
四半期純利益	40,104	111,695

<訂正後>

第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	4,934,464	5,376,471
売上原価	<u>4,360,799</u>	<u>4,666,005</u>
売上総利益	<u>573,664</u>	<u>710,466</u>
販売費及び一般管理費	<u>476,173</u>	<u>469,167</u>
営業利益	<u>97,491</u>	<u>241,298</u>
営業外収益		
受取利息	1,760	1,732
受取配当金	132	140
賃貸料収入	1,769	2,944
その他	<u>904</u>	<u>1,314</u>
営業外収益合計	<u>4,567</u>	<u>6,131</u>
営業外費用		
支払利息	21,867	24,621
持分法による投資損失	—	515
支払手数料	—	37,747
休止固定資産費用	8,287	11,914
その他	<u>9,465</u>	<u>2,770</u>
営業外費用合計	<u>39,621</u>	<u>77,569</u>
経常利益	<u>62,437</u>	<u>169,861</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	<u>△263</u>	<u>967</u>
特別利益合計	<u>△263</u>	<u>967</u>
特別損失		
賃貸店舗解約損	2,857	—
減損損失	—	23,151
特別損失合計	<u>2,857</u>	<u>23,151</u>
税金等調整前当期純利益	<u>59,316</u>	<u>147,676</u>
法人税等	23,841	75,986
少数株主利益	398	910
当期純利益	<u>35,076</u>	<u>70,778</u>

<訂正後>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	104,641	237,895
減価償却費	127,957	141,724
減損損失	—	23,151
のれん償却額	57,485	48,907
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,090	△2,708
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,675	6,190
受取利息及び受取配当金	△4,267	△3,436
支払利息	42,950	44,236
持分法による投資損益 (△は益)	—	4,069
売上債権の増減額 (△は増加)	△80,586	1,027,913
たな卸資産の増減額 (△は増加)	192,024	△18,459
仕入債務の増減額 (△は減少)	463,913	276,080
その他	3,164	△54,700
小計	899,870	1,730,866
利息及び配当金の受取額	2,536	1,573
利息の支払額	△41,509	△43,873
法人税等の支払額	△81,330	△119,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	779,567	1,569,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,900	△1,600
定期預金の払戻による収入	10,500	3,400
有形固定資産の取得による支出	△358,429	△95,117
無形固定資産の取得による支出	△7,670	△10,594
投資有価証券の取得による支出	△8,000	—
差入保証金の差入による支出	△7,172	△33,664
差入保証金の回収による収入	66,362	9,192
貸付けによる支出	△10,658	△146,000
貸付金の回収による収入	13,900	80,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,294,309
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	89,307
営業譲受による支出	△86,837	—
その他	6,123	△13,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384,780	△1,413,154

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	200,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△729,211	△875,677
リース債務の返済による支出	△7,396	△8,216
社債の償還による支出	△60,000	—
自己株式の取得による支出	△1,050	—
配当金の支払額	△42,930	△42,804
少数株主への配当金の支払額	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,937	272,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,849	429,085
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,062	1,921,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,696,911	2,350,312

<訂正後>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	9,531,119	139,425	9,670,544	—	9,670,544
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,531,119	139,425	9,670,544	—	9,670,544
営業利益又は営業損失(△)	174,823	△27,708	147,115	—	147,115

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

3 前連結会計年度まで区分掲記しておりました「処方データビジネス事業」は、重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間より「その他事業」に含めることといたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における処方データビジネス事業の売上高は一千円、営業損失は21,370千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,488,295	136,821	10,625,116	—	10,625,116
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,488,295	136,821	10,625,116	—	10,625,116
営業利益又は営業損失(△)	495,391	△26,976	468,415	(101,129)	367,286

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

<訂正後>

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）において海外売上高はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）において海外売上高はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）
該当事項はありません。

<訂正前>

平成22年5月期 第2四半期決算短信

平成22年1月13日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 利美知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業本部長 (氏名) 村上 典夫 TEL 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第2四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第2四半期	10,625	9.7	364	139.6	257	181.1	108	141.9
21年5月期第2四半期	9,683	—	152	—	91	—	44	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第2四半期	15,253 81	—
21年5月期第2四半期	6,288 53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第2四半期	12,286	1,877	14.4	247,459 10
21年5月期	10,335	1,720	16.4	237,948 33

(参考) 自己資本 22年5月期第2四半期 1,765百万円 21年5月期 1,697百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	6,000.00	6,000.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期(予想)の期末は、当該株式分割を考慮しております。

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	23,052	15.2	692	28.2	535	31.2	223	0.6	10,458.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期の業績予想における1株当り当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

<訂正前>

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
株三和調剤
(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第2四半期 | 7,155株 | 21年5月期 | 7,155株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第2四半期 | 21株 | 21年5月期 | 21株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第2四半期 | 7,134株 | 21年5月期第2四半期 | 7,154株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項につきましては、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

<訂正前>

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年6月1日～平成21年11月30日）の我が国の経済は、中国を筆頭とする新興国の需要回復により最悪期からは脱したものの、今後の見通しについては引き続き不透明な状況にあります。ドバイショックによりさらに進行した円高、少子高齢化の進行により顕在化する慢性的な需要不足、先進国の中で突出した水準の財政赤字等は、我が国特有の問題として今後の事業運営のための環境予測をさらに困難化しております。

当社グループが属する調剤薬局業界におきましても、本年6月1日より改正薬事法が施行されOTC医薬品（一般用医薬品、大衆薬）の3分類化と登録販売者制度の設置が行われました。これにより調剤チェーンにドラッグストアやコンビニエンスストア、大手小売業も加えて今後の市場動向を見据えての提携や再編が活発化しております。

そのような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は10,625百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は364百万円（同139.6%増）、経常利益は257百万円（同181.1%増）、四半期純利益は108百万円（同141.9%増）となりました。当社グループは、「調剤を科学する薬局」というコンセプトのもとで、地域医療や後発医薬品等において高水準なサービスを提供できる体制の整備を推進してまいりました。また、本年6月1日の持株会社体制への移行を機に、グループ会社の組織変更や人事異動を積極的に行い、グループ全体の機能強化と活性化を促すように取り組んでまいりました。さらに、地域医療サービスにおける質の向上を目指す同業他社に対して積極的に参画を促すことで、グループ力の拡大に向けて、鋭意取り組んでおります。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

（調剤薬局事業）

当第2四半期連結累計期間における新規開局は2店舗（10月魚津店、11月一宮西店）でしたが、調剤薬局事業に関するM&Aを2件成約しております。本年9月11日付で、持分法適用関連会社であった株式会社三和調剤（本社：東京都武蔵野市、3店舗運営）と「資本業務提携に関する基本契約」を締結し連結子会社（持分割合51.2%）といたしました。また、本年9月30日付で、株式会社ハイレンメディカル（本社：北海道伊達市、22店舗運営）の株式を取得し完全子会社化しております。その結果、当第2四半期連結会計期間末における調剤薬局店舗数は153店舗（直営151店舗、FC2店舗）となりました。

薬局運営面につきましては、これまで重点的施策として取り組んでまいりました地域医療（在宅医療や施設調剤等）の拡大や後発医薬品の推奨品整備に加えて、OTC医薬品等の販売拡大に向けた施策にも着手しております。

これらの結果、売上高は10,488百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は492百万円（前年同期比193.1%増）となりました。

（その他事業）

その他事業の内容は、当社が運営する処方データビジネス事業と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局店舗以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸販売であります。その他事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は136百万円（前年同期比10.2%減）、営業損失は26百万円となりました。

<訂正前>

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は12,286百万円となり、前連結会計年度末残高10,335百万円に対し、1,951百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動資産898百万円、有形固定資産326百万円、無形固定資産1,413百万円、投資その他の資産332百万円それぞれ増加したこと、また調剤報酬債権流動化の契約内容の変更等に伴い、売掛金が967百万円となり前連結会計年度末残高1,165百万円に対し198百万円（連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により404百万円増加したため、調剤報酬債権流動化の契約内容の変更等に伴う減少額は603百万円）、未収入金が475百万円となり前連結会計年度末残高891百万円に対し415百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は10,408百万円となり、前連結会計年度末残高8,615百万円に対し1,793百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動負債990百万円、固定負債235百万円それぞれ増加したこと、短期借入金が200百万円、長期借入金（1年内含む）が493百万円（内、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による増加額が369百万円）増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,877百万円となり、前連結会計年度末残高1,720百万円に対し157百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が66百万円増加し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得等により、少数株主持分が89百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年1月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました内容に変更はございません。

なお、通期業績予想には第3四半期連結累計期間より株式会社三和調剤（平成21年9月11日付「業務・資本提携（第三者割当増資引受け）及びそれに伴う子会社の異動に関するお知らせ」ご参照）と株式会社ハイレンメディカル（平成21年9月30日付「株式会社ハイレンメディカル株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」ご参照）が、第4四半期連結累計期間より有限会社北町薬局（平成21年12月3日付「有限会社北町薬局の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」ご参照）が連結子会社として連結業績に寄与することを想定しております。また、平成22年5月に計画している本社移転（平成22年1月5日「本社移転に関するお知らせ」ご参照）に係る費用等も加味しております。

<訂正前>

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

持分法適用関連会社であった㈱三和調剤との業務提携をさらに強固にするために株式を追加取得し、連結子会社となったと同時に連結の範囲の変更を伴う特定子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

<訂正前>

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,581,153	2,152,044
売掛金	967,162	1,165,463
商品	833,129	693,035
未収入金	475,307	891,108
その他	<u>296,177</u>	<u>196,402</u>
貸倒引当金	<u>△7,731</u>	<u>△6,747</u>
流動資産合計	<u>5,145,199</u>	<u>5,091,307</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>1,850,226</u>	<u>1,663,818</u>
土地	<u>1,573,241</u>	<u>1,468,770</u>
その他(純額)	<u>243,359</u>	<u>202,324</u>
有形固定資産合計	<u>3,666,827</u>	<u>3,334,913</u>
無形固定資産		
のれん	1,865,682	501,964
ソフトウェア	285,613	337,104
その他	35,810	24,984
無形固定資産合計	<u>2,187,106</u>	<u>864,054</u>
投資その他の資産		
差入保証金	671,591	584,761
その他	<u>629,170</u>	<u>470,939</u>
貸倒引当金	<u>△13,633</u>	<u>△11,883</u>
投資その他の資産合計	<u>1,287,128</u>	<u>1,043,817</u>
固定資産合計	<u>7,141,062</u>	<u>5,242,785</u>
繰延資産		
株式交付費	377	1,490
繰延資産合計	<u>377</u>	<u>1,490</u>
資産合計	<u>12,286,639</u>	<u>10,335,584</u>

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,463,355	3,433,087
短期借入金	500,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,622,629	1,539,308
未払法人税等	161,275	118,517
その他	<u>451,251</u>	<u>457,715</u>
流動負債合計	<u>7,198,511</u>	<u>5,848,629</u>
固定負債		
長期借入金	2,993,742	2,583,668
退職給付引当金	139,348	125,964
その他	77,290	57,120
固定負債合計	<u>3,210,380</u>	<u>2,766,752</u>
負債合計	<u>10,408,892</u>	<u>8,615,381</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	<u>651,320</u>	<u>585,304</u>
自己株式	<u>△2,430</u>	<u>△2,430</u>
株主資本合計	<u>1,756,341</u>	<u>1,690,325</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,031	7,198
評価・換算差額等合計	<u>9,031</u>	<u>7,198</u>
少数株主持分	112,374	22,679
純資産合計	<u>1,877,747</u>	<u>1,720,202</u>
負債純資産合計	<u>12,286,639</u>	<u>10,335,584</u>

<訂正前>

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	9,683,544	10,625,116
売上原価	8,587,020	9,263,904
売上総利益	1,096,524	1,361,212
販売費及び一般管理費	944,402	996,800
営業利益	152,121	364,411
営業外収益		
受取利息	3,912	3,084
受取配当金	354	351
受取賃貸料	3,111	5,626
その他	2,364	2,035
営業外収益合計	9,743	11,098
営業外費用		
支払利息	42,950	44,236
持分法による投資損失	—	4,069
支払手数料	—	38,252
休止固定資産費用	12,863	24,193
その他	14,560	7,551
営業外費用合計	70,375	118,304
経常利益	91,490	257,205
特別利益		
貸倒引当金戻入額	20,891	967
特別利益合計	20,891	967
特別損失		
賃貸借契約解約損	2,857	—
減損損失	—	23,151
特別損失合計	2,857	23,151
税金等調整前四半期純利益	109,525	235,020
法人税等	63,747	124,963
少数株主利益	790	1,236
四半期純利益	44,988	108,820

<訂正前>

第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	4,934,464	5,376,471
売上原価	<u>4,362,535</u>	<u>4,667,442</u>
売上総利益	<u>571,929</u>	<u>709,028</u>
販売費及び一般管理費	<u>476,612</u>	<u>469,167</u>
営業利益	<u>95,317</u>	<u>239,860</u>
営業外収益		
受取利息	1,760	1,732
受取配当金	132	140
賃貸料収入	1,769	2,944
その他	<u>843</u>	<u>1,314</u>
営業外収益合計	<u>4,506</u>	<u>6,131</u>
営業外費用		
支払利息	21,867	24,621
持分法による投資損失	—	515
支払手数料	—	37,747
休止固定資産費用	8,287	11,914
その他	<u>9,465</u>	<u>2,770</u>
営業外費用合計	<u>39,621</u>	<u>77,569</u>
経常利益	<u>60,201</u>	<u>168,423</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	<u>△263</u>	<u>967</u>
特別利益合計	<u>△263</u>	<u>967</u>
特別損失		
賃貸店舗解約損	2,857	—
減損損失	—	23,151
特別損失合計	<u>2,857</u>	<u>23,151</u>
税金等調整前当期純利益	<u>57,081</u>	<u>146,239</u>
法人税等	23,841	75,986
少数株主利益	398	910
当期純利益	<u>32,841</u>	<u>69,341</u>

<訂正前>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	109,525	235,020
減価償却費	131,429	144,599
減損損失	—	23,151
のれん償却額	57,485	48,907
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,090	△2,708
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,675	6,190
受取利息及び受取配当金	△4,267	△3,436
支払利息	42,950	44,236
持分法による投資損益(△は益)	—	4,069
売上債権の増減額(△は増加)	△80,586	1,027,913
たな卸資産の増減額(△は増加)	192,024	△18,459
仕入債務の増減額(△は減少)	463,913	276,080
その他	3,761	△54,700
小計	908,822	1,730,866
利息及び配当金の受取額	2,536	1,573
利息の支払額	△41,509	△43,873
法人税等の支払額	△81,330	△119,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,519	1,569,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,900	△1,600
定期預金の払戻による収入	10,500	3,400
有形固定資産の取得による支出	△364,389	△95,117
無形固定資産の取得による支出	△7,670	△10,594
投資有価証券の取得による支出	△8,000	—
差入保証金の差入による支出	△7,172	△33,664
差入保証金の回収による収入	66,362	9,192
貸付けによる支出	—	△146,000
貸付金の回収による収入	—	80,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,294,309
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	89,307
営業譲受による支出	△86,837	—
その他	6,373	△13,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,732	△1,413,154

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	200,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△729,211	△875,677
リース債務の返済による支出	△7,396	△8,216
社債の償還による支出	△60,000	—
自己株式の取得による支出	△1,050	—
配当金の支払額	△42,930	△42,804
少数株主への配当金の支払額	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,937	272,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,849	429,085
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,062	1,921,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,696,911	2,350,312

<訂正前>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	9,531,119	152,425	9,683,544	—	9,683,544
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,531,119	152,425	9,683,544	—	9,683,544
営業利益又は営業損失(△)	168,018	△15,896	152,121	—	152,121

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

3 前連結会計年度まで区分掲記しておりました「処方データビジネス事業」は、重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間より「その他事業」に含めることといたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における処方データビジネス事業の売上高は13,000千円、営業損失は9,558千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,488,295	136,821	10,625,116	—	10,625,116
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,488,295	136,821	10,625,116	—	10,625,116
営業利益又は営業損失(△)	492,516	△26,976	465,540	(101,129)	364,411

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

<訂正前>

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）において海外売上高はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）において海外売上高はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）
該当事項はありません。